

ては、娘も振ふ、火もつける(笹焼き)といふ盛極で、真に愉快に暮して居ります。夕方七時頃迄野に働き、風呂に焚く手頃の薪を肩

ささきたので、明日よりそのころプラナをかける事にいたしました。今度は大豆播種の決定です。松の實、農業世界、米粒物價比較表正に拜受、それら、近所に配付

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善美行為を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村の村務担当者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、貧窮力を以て、國民慈善に當る。

内郷村報

ルニ天
ベシ從法
順人則
ナ

衷心より

選挙人各位に

大内民恵

記者は、本紙七月號に「先づ立候補者に献言す」の一稿を掲載して、其反省考慮を煩はしたのであつたが、感の一端を申上げて見やうと思ふ。

勅令一下、選挙肅正が、國民を總動員したる今日、選挙に關する大抵の事は、心得居る事と思ふが、選挙の東京新聞に、最近山村縣の或村で、選挙肅正の際、縮少して一圓だ、と云ふから、買収が行はれた、と云ふ事、起訴せられ、其中八名が、中に、選挙委員が三名も、まじつて居つたといふ事、報じてあるのを見れば、たゞ、其趣旨が徹底して居ないと思ふ。列挙して見ると、附いた点を、先づ第一に吾人の一票は、神聖なる権利であり、陛下の御下問に對する奉仕であり、國民としてその奉仕である。

選挙の事、深く肝銘して忘れぬ事である。従つて從來腐敗墮落の因をなしたる、各種の干渉や、情實因縁や、買収等論、超然自己の信ぜざる代表として、投票すべきである。候補者に、投票すべきである。来るべき縣議選舉を、前哨戦であるか、衆議院選舉の、居る人もあるかの如く、思つて居る人もある。云ふまでもなく、國家の政治に、かく、政黨の綱領とする、候補者の政策を、團體の政策として、投票して貰ひたい。此場合、政策の一致は、人物の多さ、複本位である。下地方各種自治體の議員選舉を調査して、適任者を云々、選挙の必要は認めない。但

しかくある事によつて、政黨の淨化も行はるゝ事と思はれる。

そこで根本問題は、選出すべき人物の調査鑑別にあり、之は從來の議員なる者の素質を見るに、無論立派な例外はあるにしても、其大部分は、多額の選挙費用をつかひ、あらゆる手段方法を講じて當選した、識見も節操もなく、低劣なる野心や、操動する、吾人の所謂選挙法違反の、前科者である。今迄の選挙政治の危機に當面して、立憲政治の危ないとき、選挙肅正を叫ばれつゝ、今後に於ては、各自相戒め、覺悟を以て、理想的人物を選出するべく、努めなければならぬ。事、思はれる。

以下、少くも、人物鑑別に關する、意見を述べ、事として、一家の主人として、申請する資格なき者を見るべきである。資格なき者を見るべきである。

二、其人の職業を見よ、も、往々世の所謂職業と稱するもの職業を有せず、或は一定の利用を、所謂利権ありき者に、身をよつて居る者、最近某縣に於て、特種銀行の重役選挙に於て、政治家、兩派の幹部にして、二縣議が、莫

大の運搬費をせしめた噂を聞いたが、そんなところ、其に類する不届者無きに、しるも、爛眼を以て看破する事に、肝要である。

三、選挙毎に、必ず低頭平身したり、泣いて同情を求めたりする、人格下劣な候補者があらはれる。堂々と所信を開陳し、徒らに歡心を求めんとする風なき者が、眞の人物である事を忘れてはならぬ。

四、地方問題や、淺慮なる選挙民の喜ぶ様な事を並べ立つる者は、人氣に投ぜんとするに専らにして、眞に其職責を重んぜざる者として排斥すべきである。

五、廣く年賀寒暑の挨拶、吉凶の慶弔等に事よせて、選挙民の同情歡心を買はんとする者が多いが、用心して其低劣なる手段に乘るべきでない。

六、年中選挙の事に没頭して、一地方の希望を聞いたり、些細の事迄も周旋盡力するかの如く、見せかけんとする者も少くないが、これ等は、其任務に忠實ならず、且つ能力の乏しい者である。眞に、其使命を全うせんとすれば、研究と修養とに、寧日あるべき筈がないのである。

之を要するに、昔から云ふ通り「巧言令色仁鮮し」だ、静かに候補者たる人物を、洞察鑑別して、適正に選挙

残暑御伺

此夏は、
久方ぶりに
海にゆき
亡き妹の
子等を迎へて
(民恵)

大内民恵
同 一 郎
同 二 郎
同 卷 幡 一
同 同 善 信
渡邊清也
近藤市太郎
星 新 吾
甲斐根丑治
杉田本宅留守居

つて一丸となり、全國を總動員して、銳意奮闘して居るのである。有権者たる諸君子は、深く此に鑑みて、今の如き態度を以て之に處し、悔を千載にのこす様な事などは、斷じて之れなかるべく、堅く選挙法の各條を遵奉して、尊き一票を行使せらるゝ様、衷心より念願して已まない次第である。
(八月十三日稿)

我村の選舉肅正運動

選舉肅正については、本村に於ても村を擧げて其運動に全力を注いで居る。先づ七月二十一日には、村社住吉神社前に於て、肅正委員六十名の辭令交付に兼ねて宣誓式を行ひ、同二十七日には、委員一同平町に開催せられた、丸山鶴吉氏及伊藤知事の講演會に臨み、八月六日午後一時よりは、役場に委員會を開きて、其運動方法を打合せ、同夜は第二小學校に於て、本縣健保課長石川貞四郎、縣肅正委員大内民惠兩氏を講師とする講演會を開催、別項掲載の如き聲明を決議し、次いで左の日程によつて、部落懇談會を開催した。

罰則

一、投票買収に關する犯罪の刑を加重し、第一一二條第一項の罪に付ては、三年以下の懲役禁錮又は二千萬圓以下の罰金とし、同條第二項及第一一三條の罪に付ては四年以下の懲役禁錮又は三千万圓以下の罰金を科する事となつた。

二、買収行為を爲さしむる目的を以て選舉運動者に金品を交付し、又は之を受けたる行為を罰する規定を設けた。(一一二條第一項第五號)

三、選舉事務に關係ある官吏當該選舉に關し又は警察吏員、其關係道府縣内の選舉に關し、買収の罪を犯したる時は、常人に比して其刑を加重する事となつた。

四、特に選舉ブローカーの所爲を嚴罰する趣旨に基き候補者の爲に多數の選舉人に對し買収行為をなし、又は之をなす事を請負ふ等の所爲を、財産上の利益を圖る目的を以て爲す者に對し又買収行為の爲に對して

聲明

は、五年以下の懲役禁錮に處する事となつた。

五、選舉の自由を妨害する罪の刑を、四年以下の懲役禁錮又は三千万圓以下の罰金を科する事となつた。

六、官吏が正當の理由なくして、候補者の選舉事務長若くは選舉委員に追隨し、又は其居宅若くは選舉事務所に入りたるが如きは職權を濫用して選舉の自由を妨害する所爲と見做し、明文を設けて處罰する旨を

示し、又選舉に關し官吏が故意に職務を懈怠し、又は職權を濫用して、選舉の自由を妨害する罪の刑を重くして、四年以下の懲役禁錮とし、又選舉人にして選舉人の氏名表示を求むる罪の刑も重くして、六月以下の禁錮又は三百圓以下の罰金を科する事となつた。

七、議員候補者の届出又は推薦届出前に運動をなしたる者に對し、一年以下の禁錮又は五百圓以下の罰金を

科する事となつた。

八、法定の制限數を超えて勞務者の選任をなし、又は適法に選任せられたる勞務者にあらずして勞務を提供したる者に對し、三百圓以下の罰金を科する事となつた。

九、選舉事務長が買収行為の罪を犯して刑に處せられたる時、當選人の當選を無効とする規定を擴張して、選舉事務長にあらずして事實上選舉運動を總括主宰したる者が買収行為の罪を犯し刑に處せられたる時も、亦當選を無効とする規定が設けられた。

十、買収行為の累犯者に對しては、選舉權及被選舉權を有する事を得ざる期間を十ヶ年と規定された。

加藤丈夫氏

最近同氏は、興望を荷ふて特種銀行たる縣の貯蓄銀行頭取に就任した。氏として、村としても大に意を強うするに足るといふべきである。

草野さく子女史

前村長故草野武雄氏未亡人たる同女史は、八月一日七十一歳にて逝去。其篤行は次號にて紹介する。

◎本紙贊助金寄贈芳名
金貳圓 東 京 大岡 登
金貳圓 北 海 道 加治吉五郎

改正選舉法罰則

之は何人も知らんと欲する

矢野 恒太 大内民惠著
眼部字之吉

教育制度改革概論

(四六版二二頁 定價五十錢 郵稅六錢)

磐炭殉職者精靈追悼會

磐炭殉職者に於ては、列年の山より勿論、近郊近江からも

吾等の一票は、畏くも 上天皇陛下に對し奉り、國民の務でありまして、それが正しい政治を行ふ基本となるのであります。就ては來る九月二十五日に行はる縣會議員總選舉の際には、自分の信する候補者に、清く正しい一票を投票し、非常時國民の眞心を捧ぐるため、相協力して左の事項を實行する事に致しませう。

記

一、買収、御馳走、情實の如き不正行為には對絶に應ぜざることを。二、選舉運動の訪問面接などを爲さずまた斯くの如き運動には斷然應ぜざることを。三、投票勧誘のため内容の會合を催さず、又斯る催しには参加せざることを。四、其の他選舉の規則を守り、各自相戒め、苟も選舉違反者を一名も出さざることを。五、必ず投票すること。

右 聲明す

昭和十年八月六日

内郷村選舉肅正講演會出席者一同

我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士

密を密せて曰く、多年ノ御體験ト實地

ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜

味仕リ不勝感激ニ打テ申候云々

發行所

日本評論社

東京京橋三丁目

取次所

内郷村報社

夫なるが、此世に必要あつて生みたる精神的苦痛から脱出しやうでは、精力的に、昨年七月から安全委員の職務の中心なる努力に加へ、坑外に利用するは、防災其他の根本

第一小學校。以上。

改選選舉法罰則
之は何人も知らんと欲する

右聲明す
昭和十年八月六日

内郷村選舉肅正講演會出席者一同

次號にて紹介する。
◎本紙贊助金寄贈芳名
金貳圓 東 京 大 岡 登
金貳圓 北 海 道 加 治 吉 五 郎

矢野 恒太 大内 民惠 著
服部 宇之吉
教育制度改革概論
(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

我が教育學界の權威
前京大總長小西重直博士
書を寄せて曰く、多年ノ御體験ヲ實地
ノ御試練ニ基テ眞摯憂國ノ大神神ヲ拜
味仕リ不忠感激ニ打テレ申候云々

發行所 日本評論社
東京橋本三丁目
取次所 内郷村報社

磐炭殉職者精靈追悼會

磐城炭礦に於ては、例年の通り八月十二日(舊七月十四日)午前九時より瑞芳寺に於て、左の順序により、創業以來の殉職者五百五十名の爲め、鄭重懇篤なる追悼會を舉行した。

磐炭の海水浴

磐城炭礦青年會會員百九名は、八月四日會長上原四郎副會長田中義技兩氏引率の下に、小名濱海岸に水浴を行ひ、午後四時歸山した。

磐炭世話役會

例年盛夏の候、海岸に於て開かれる、磐炭親和會世話役會は、七月二十一日茨城縣磯原町の海岸磯原館に於て開催された。出席者は各坑係來賓等を加へて百十四名。名勝天妃山を扣へて、

大盆踊

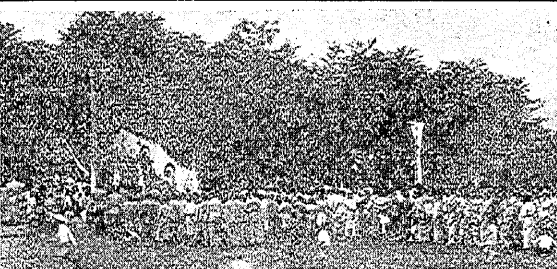
磐城炭礦では、舊盆十四日より三日間、金坂運動場に大樽を建て、無数の裝飾電燈を點じ、勞務係員總動員で出勤、百數十人の親和會及青年會幹部も協力して、之が指揮監督の下に、一大盆踊が演ぜられた。古今東西、社會百般の變裝飯装せる老若男女數千の踊手が全

町田坑の災害防止運動

(前略)我等の炭礦も産業日本に於ける技術的進歩の一環に在り、その技術を維持し、安全に生産することを第一の義務として、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

點呼豫習教育
在郷軍人會磐城炭礦分會では、八月一日より八日迄左記の通り、簡閉點呼豫習教育を實施する事に決定、目下準備中である。



町田坑の災害防止運動
神前社の祈願

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

町田坑の災害防止運動
町田坑の従業員である。先づ町田坑に於ける、従業員が持つべき義務は、第一、自らの安全を確保することである。そのためには、自らの組織を健全にし、災害防止に努むるべきである。此の目的達成のため、我等は、町田坑の災害防止運動を起し、自他共に許す迄にして、

村郷内

北海道通信 (四) 大内きみ



天野休村 野澤村 野澤村 野澤村 野澤村 野澤村

(巻棚つて女史宛) お手紙二回共頂戴、有り難う御座いました。お子様方御一同と、杉田地蔵等に御参詣の由、ほんたうに結構でした。たゞ子殿此間肺炎にかゝられたつた由、生活が變つた(小學校に入學)處から來たのではありますまいか、しかし間もなくよくなつてよるしう御座いました。七年會も益々堅實に向ふにつ、ある由、すべて皆様のお蔭と喜んで居ります。皆様が一心同

にして、思ひきり大きな聲で、御歌を唱へながら、家路に歸つて來る時の氣持ち！一日の勞苦はすつかりけし飛んで仕舞ひます。歸るま風呂に火を焚きつけ、炊事にさりか、れば、やがて三人の若者二頭の馬が歸つて來る、八時頃楽しい食卓につき、風呂にはいつて寝るのが十時頃、翌朝は五時に起きるさいふ日課ですが、例の肩もこらず、左腕のいたみもいつの間にかなほりました。今右の薬指の付根が、あまり嫌や嫌を振りまはしたせいかわつたので、按摩膏をはつて居りますが、之れも追まよいはずです。さかかく實に壯健ですから御安心下さい。

く、鴨は飛行機に如く、すばらしい羽を立て、頭上を舞ひ、啄木鳥はコックと木の間を叩きまはつて、我等を敬服するもの、如く今しも若草の萌え初めた、屏風を立てたまはした様な、裏手の丘陵は我等を保護するもの、如く、さながら自然の大殿堂の中にあるかの様に思はれます。それに空は鳥國のせい、色ざりのその如くすなわたり、色ざりのその奇麗な雲が去来し、宮澤あたりに、到底想像もつかぬ美しさで、到底此頃は、モンペイの穿き方も、長靴の穿き方も上手になりました。之等の仕度は、何をすることも便利であり、氣安くもあり、ほんたうに重寶です。あなたも夜な夜な産家に行かす、時、モンペイをははかてどう？お産さ、いへばだんぐり御繁昌の由、安心して居ります。今日此位にして筆止めます。事務の方々、炊事の人々、會員の皆さんにもよろしく願ひ上げます。(五月二十二日)

拜復、六月六日附御便に有り難う御座いました。早速御返事いたす處、仕事に追はれまして、相濟みませんでした。多量の鉛玉有り難う御座いました大いにエネルギーを補給したものと見えて、母上始め一同益々元氣ですから御安心下さい。大豆も九日に四反を播種終了した、本日からは大手亡(菜豆)を播く所に、プアオを入れ始めました。之も四反歩です。遅くも二十日頃には終了の豫定です。當地方も梅雨の爲めか、しばしばお天氣が悪くて困ります。明日は札幌神社の祭典で、全道各地の神社も祭禮を行いますので、村社清水神社に参詣もし、勞々二少年夜涼 (麥苗吟社) 高木 撫山

(二郎宛) 手紙有り難う、臨時試験で相當忙しかつたらうれ、淋しくもないさうだから、先づ安心さいふ處、だが今度、お父さんも肅正委員で、色々忙しく、家の方も空になる時が多からうから、留守も大變だけれども、お母さん元氣で、其代り愉快だ、お母さんも元氣で、一生懸命だ。フキや藤やセンマイが、家の近邊にニヨキ、出て居るのでお汗鍋をかけておいて、つまんで來るさいふ次第。お父さんの來られる日、一同待望して居る。だがだんぐりお顔が見られるかど待つて居る。丁度其頃職舎を建て居る様になるから、では體を大切に、勉強なささい。左様なら。(六月十四日夜)

開拓記

北海道十勝國七川郡清水村第七區

大内一郎

拜復、御手紙誠に有り難う御座いました。開拓記録に對して、各方面より諍辭をいたさつ、ある由眞に恐縮いたしました。いよいよ益々精勵せねばならぬと存じます。其後小馬「さくら」も、一日々大きくなり元氣になりました。本日又初春には、種馬所で種付けをした花咲馬にも巡回種馬につけてもらひました。畑の方は、稲黍三反播種いたしました。燕麥は一寸五分位伸び、ほんたうに氣持よ御座います。初春には分曉後、十日間休養させましたので、明日よりそれぞプアオをかける事にいたしました。今度は大豆播種の豫定です。松の質、農業世界、米粒物價比較表正に拜受、それ、近所に配付



初春花咲馬と小馬

何卒御達者に御奮闘の程を祈り申し上げます。樺太の渡部さんへも、二三日中にお便りいたす積りです。皆様にもよろしく。お父さんが、御渡道の時、梅干を乾かして、持つて來て(六月十四日夜) 願ひます。(六月十四日夜)

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨派を超越して、村力充實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總規和總努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。

大内一郎

本紙發行は大内一家の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を兼めるものなり。

本紙發行は、大内一家の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を兼めるものなり。

本紙發行は、大内一家の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を兼めるものなり。

する事にいたします。二郎公に寫すに、六月六日、明日午後は休息日、十六日には又、清水市街に二才駒の年評會が催されるので、お父さん、明年我々から號を出馬させる参考の爲、ごんな状況同日午後から出掛ける豫定にいたしました。此頃は日長くなりまして、午後七時頃から八時頃迄働く時もあります。お父さんが今度、縣の選挙肅正委員に選任せられた事を、東日紙上で承知しました。誠に喜ばしい事です。益々お忙しな事ですが、國家の爲是非ない事です。年來お父さんの叫ばれた事が、實現出來るかと思ふ痛快極度です。委員中でも恐ろしく根本的の深い抱負を有して居る人は、絶無さはいはんに、その近頃は、いかに存在し

尚最後に一言するが、協力を